



防災通信



加入世帯
回覧

2026年5月号
和合町自主防災隊

「外出先で地震に遭遇したら…」

地震は、自宅にいる時に起こるとは限りません。外出先で、被災するという事も想定されます。その地域の土地勘もなく、避難所もわからないという事になるかもしれません。この連休中に、出かける予定のある方もおられるかもしれません。

いざという時、どうすればいいのか、学んでおきましょう

□ 運転中に地震に遭遇「公助」はすぐには動かない

ハザードランプをつけて減速、道路の左側に寄せて車を停車。エンジンを止めて揺れがおさまるまで車内で待機。その場に車を置いて避難するときは車のキーはつけっぱなしに。ドアロックしない

□ エレベーターに乗っているときに地震に遭遇

揺れを感じたら、全ての階のボタンをすべて押し、最初に停まった階で降りる。

揺れがおさまり、エレベーターが動き出しても使わない。閉じ込められたら、エレベーターのインターホンで通報。

□ 住宅地で地震に遭遇

建物、ブロック塀の倒壊、自動販売機の転倒、落下物などに注意し、公園などの広い場所や、耐震性の高いビルに逃げる。(避難所の看板があります。アプリ等で確認可)

□ デパート、スーパーで地震に遭遇

陳列棚、ショーケースから離れ、品物の落下から身を守る。

階段の踊り場や、柱のそばに移動。店員の指示に従い、避難する。

□ オフィス街などで地震に遭遇

窓ガラスや外壁、看板などの落下に注意。カバンなどで頭を保護して、できるだけ建物から離れる。

□ 地下街で地震に遭遇

停電になっても非常照明がつくまで待つ。すぐに地上に出ようと非常口や階段に殺到しない(地下は案外安全です)

□ 海岸、川べりで地震に遭遇

直ちに海岸、川べりから離れ、急いで高台や津波タワーなどに避難(津波の情報を得る)

津波警報、注意報が解除されるまで近づかない。

□ 劇場、ホールなどで地震に遭遇

照明等の落下に備え、頭を保護。館内放送、係員の指示に従う。非常口に殺到しない。

□ 山間地で地震に遭遇

崖崩れの危険があるので、斜面やがけから離れる。(地震の情報を得る。道路状況など)

※ バックの中、車の中に、最低限の防災グッズを普段から準備しておくことをお勧めします。ミニサイズのポーチやチャック付きのビニール袋などを利用して作ってみましょう。